



れいわ がん ねんど
令和元年度

ぶんかげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業

じゅんかいこうえんじぎょう
—巡回公演事業—

たい こ しば い こ ざ
太鼓と芝居のたまっ子座

『和太鼓ライブ いちにのドン』



ぶんかげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

わ くに いちりゅう ぶんかげいじゅつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ
我が国の一流の文化芸術団体が小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた
ぶたいげいじゅつ かんしょう きがい え こども はっそうりよく
舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション
のうりよく いくせい しょうらい げいじゅつか いくせい こくみん げいじゅつかんしょうのうりよく こうじょう
能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを
もくてき じぜん こども じつえんしどう また かんしょうしどう
目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を
おこな じつえん こども さんか
行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



ぶんかちょう
文化庁



「和太鼓ライブ いちにのドン」 演目紹介

- オープニング・・・パネルからとびだしたのは！？あらら？？
- まわり太鼓・・・^{だい こ}元^{げん き}氣に走り回^{まわ}る かけあし太鼓^{だい こ}！
- 虫追^{むし お}い豊年太鼓^{ほうねんだい こ}・・・自然^{し ぜ ん}と共^{とも}に生^いきる人々^{ひとびと}が、豊作^{ほうさく}を願^{ねが}い打^うち鳴^ならす太鼓^{たい こ}
- 月夜^{つきよ}の力エル・・・のどかな水^{みず}辺^べの情^{じょう}景^{けい}。不^ふ思^し議^ぎな音^{おと}が響^{ひび}きます

◆^{かぜ}風と^{だいひょう}カミナリ…みなさんの代表と^{こざ}たまっ子座のコラボレーション！！

くろくも　わ　らいめい　とどろ　かぜ　あめ　ふ　あ　あば
黒雲が湧き、雷鳴が轟き、風や雨が吹き荒れる！ カミナリさまがひとと暴れ！！

- 機関車太鼓・・・煙を上げて力強く走る機関車 のどかで楽しい旅のはじまり！
- 「いいあんばいの幸福」・・・貧乏神と福の神の 昔話を題材にしたお芝居
- 牛と櫓の太鼓・・・生きものたちの生命をもらって生まれた太鼓の響き！

さく えんしゅつ さつきよく すえなが かつゆき ふりつけ わかばやし こうじ
作・演出・作曲 末永 克行 振付 若林 宏二

わ がっ き
和楽器いろいろ紹介
しょうかい



「いちにのドン」の舞台では、他にもたくさんの楽器が登場します！

太鼓と芝居のたまっ子座紹介

●たまっ子座は、1985年に東京で生まれ、日本全国、北海道から沖縄まで、そしてドイツ、スペイン、ルーマニア、フランス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、トルコ、シンガポール、台湾、韓国など海外でも公演を続け、たくさんの人に喜ばれてきました。

●太鼓は、言葉は話しません。けれど太鼓には、自然を畏れ、自然を愛し、自然と共に生きた祖先の人々の、祈りや感謝の熱い思いが込められ、日本の伝統芸能の一つとして人々の心をつなぎ、受け継がれてきました。私たち、太鼓と芝居のたまっ子座は、その思いを大切に、「自然と人間」をテーマとした太鼓と芝居の表現を通して、「本当に大切なものは何か」を、みなさんと一緒に未来に向けて考え合える舞台を創りたいと願っています。私たちにとって、太鼓も笛も言葉と同じです。みなさんの心の中にどんな物語が浮かんでくるか、楽しみにしています！

【代表 末永克行 / 劇作・演出・作曲 / 篠笛奏者 / 元国際基督教大学非常勤講師】



知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度巡回公演事業 たまっ子座 公演先

じっしにってい 実施日程	じっしこうめい 実施校名	じもとしゅさいしゃ 地元主催者
2019年 6月26日(水)	豊後高田市立真玉中学校	大分県教育委員会、豊後高田市教育委員会
2019年 6月27日(木)	別府市立石垣小学校	大分県教育委員会、別府市教育委員会
2019年 6月28日(金)	杵築市立護江小学校	大分県教育委員会
2019年 11月 8日(金)	高千穂町立高千穂中学校	宮崎県教育委員会
2019年 11月12日(火)	中種子町立野間小学校	鹿児島県／中種子町教育委員会
2019年 11月13日(水)	西之表市立下西小学校	鹿児島県／西之表市教育委員会
2019年 11月14日(木)	西之表市立住吉小学校	鹿児島県／西之表市教育委員会



令和元年度
文化芸術による子供育成総合事業
—巡回公演事業—

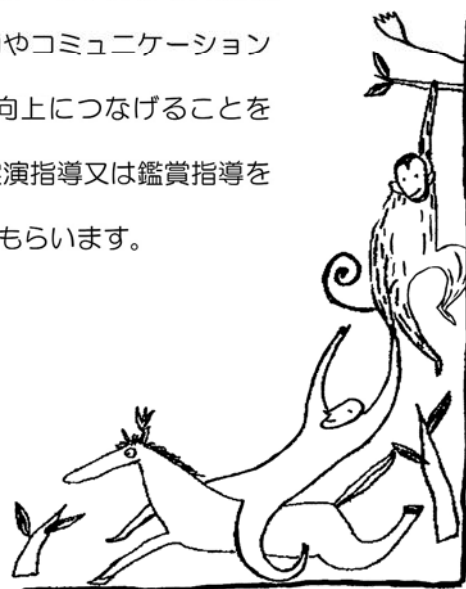
太鼓と芝居のたまっ子座

『和太鼓ライブ いちにのドン』



「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



「和太鼓ライブ いちにのドン」演目紹介

- オープニング・・・パネルからとびだしたのは！？あらら？
- まわり太鼓・・・元気に走り回 かけあし太鼓！
- 虫追い豊年太鼓・・・自然と共に生きる人々が、豊作を願い打ち鳴らす太鼓
- 月夜の力エル・・・のどかな水辺の情景。不思議な音が響きます

◆牛と^{けやき}櫓の太鼓・・・みなさんの代表とたまっ子座のコラボレーション！！

生きものたちの生命をもらって生まれた太鼓の響き！

- 機関車太鼓・・・煙を上げて力強く走る機関車 のどかで楽しい旅のはじまり！
- 「いいあんばいの^{しあわせ}幸福」・・・貧乏神と福の神の 昔話 を題材にしたお芝居
- 海の太鼓・・・荒波を越えて、雨や風に打たれながら未来に向かって^{ふなで}船出します

作・演出・作曲 すえなが かつゆき 末永 克行 振付 わかばやし こうじ 若林 宏二

和楽器いろいろ紹介



「いちにのドン」の舞台では、他にもたくさんの楽器が登場します！

太鼓と芝居のたまっ子座紹介

●たまっ子座は、1985年に東京で生まれ、日本全国、北海道から沖縄まで、そしてドイツ、スペイン、ルーマニア、フランス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、トルコ、シンガポール、台湾、韓国など海外でも公演を続け、たくさんの人に喜ばれてきました。

●太鼓は、言葉を話しません。けれど太鼓には、自然を畏れ、自然を愛し、自然と共に生きた祖先の人々の、祈りや感謝の熱い思いが込められ、日本の伝統芸能の一つとして人々の心をつなぎ、受け継がれてきました。私たち、太鼓と芝居のたまっ子座は、その思いを大切に、「自然と人間」をテーマとした太鼓と芝居の表現を通して、「本当に大切なものは何か」を、みなさんと一緒に未来に向けて考え合える舞台を創りたいと願っています。私たちにとって、太鼓も笛も言葉と同じです。みなさんの心の中にどんな物語が浮かんでくるか、楽しみにしています！

【代表 末永克行 / 劇作・演出・作曲 / 篠笛奏者^{おそ} / 元国際基督教大学非常勤講師^{きりすと}】



知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度巡回公演事業 たまっ子座 公演先

実施日程	実施校名	地元主催者
2019年 6月26日(水)	豊後高田市立真玉中学校	大分県教育委員会、豊後高田市教育委員会
2019年 6月27日(木)	別府市立石垣小学校	大分県教育委員会、別府市教育委員会
2019年 6月28日(金)	杵築市立護江小学校	大分県教育委員会
2019年 11月 8日(金)	高千穂町立高千穂中学校	宮崎県教育委員会
2019年 11月12日(火)	中種子町立野間小学校	鹿児島県／中種子町教育委員会
2019年 11月13日(水)	西之表市立下西小学校	鹿児島県／西之表市教育委員会
2019年 11月14日(木)	西之表市立住吉小学校	鹿児島県／西之表市教育委員会